

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和崎 信哉

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長 (氏名) 大熊 和彦

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	49,191	△0.1	5,090	△15.7	5,341	△19.6	3,380	△12.9
23年3月期第3四半期	49,246	0.6	6,037	12.7	6,645	18.7	3,880	△2.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,335百万円 (△7.5%) 23年3月期第3四半期 3,605百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	23,439.08	—
23年3月期第3四半期	26,908.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	47,850	28,976	60.1
23年3月期	46,203	26,237	56.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 28,778百万円 23年3月期 26,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				4,000.00	4,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期期末配当金(予想)4,000円00銭の内訳: 普通配当 3,000円00銭、記念配当 1,000円00銭。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	1.6	4,000	△29.0	4,300	△29.6	2,300	△27.0	15,947.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	144,222 株	23年3月期	144,222 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	144,222 株	23年3月期3Q	144,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成24年1月30日(月)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10
(2) 四半期個別業績情報（参考）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により景気全体が依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられます。しかしながら、欧州の政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れ懸念等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

放送業界におきましては、広告市況は東日本大震災の影響による落ち込みから回復基調にありますが、依然として厳しい状態が続いております。一方、放送の完全デジタル化に伴うデジタルテレビの普及や、平成23(2011)年10月以降のBSデジタル放送の多チャンネル化により、有料放送市場は拡大が期待されております。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間における収支の状況は、震災の影響、アナログ放送の停波等により、有料放送収入は対前年同期比で減少、デジタル放送移行対応業務受注の増加等があるものの、テレマーケティングセグメントにおける受注減により、売上高は491億91百万円と前年同期に比べ54百万円(△0.1%)の減収となりました。平成23(2011)年10月からの3チャンネル化に伴い、番組費が前年同期に比べ13億24百万円増加しましたが、販売費及び一般管理費の節減に努めた結果、営業利益は50億90百万円と前年同期に比べ9億47百万円(△15.7%)の減益、経常利益は53億41百万円と前年同期に比べ13億4百万円(△19.6%)の減益となりました。四半期純利益は33億80百万円と前年同期に比べ5億円(△12.9%)の減益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次の通りです。

<放送>

当第3四半期連結累計期間においては、平成23(2011)年7月24日にBSアナログ放送を終了、アナログ契約のお客さまのデジタル移行を完了しました。平成23(2011)年10月1日からフルハイビジョン・3チャンネル放送を開始、「WOWOWプライム」、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」の各チャンネルに人気番組・新番組を配し、ラインナップの質・量共にご好評をいただきました。

10月1日、2日には、新生WOWOWの魅力も多くのお客さまに体感していただくため、36時間無料放送で「WOWOW大開局祭」を開催しました。福山雅治を開局イメージキャラクターに迎え、スペシャルライブを放送したほか、今後放送する番組を、各チャンネルコンセプトに沿ってお披露目しました。同時に動画配信サイトとのコラボレーションにより、Web上で視聴者がコミュニケーションを取りながら番組を視聴する新しいテレビの楽しみ方を「ソーシャルビューイング」として提唱、当社放送と連動したインターネット生番組の配信を行いました。

「WOWOWプライム」では、開局20周年記念番組 連続ドラマW「パンドラⅢ 革命前夜」、三谷幸喜テレビドラマ初監督作「short cut」や桑田佳祐の4年ぶりの年越しライブなどを放送し、好評を得ました。また新たに、未加入のお客さまとの接点として、平日夜に初の本格的エンターテインメント情報番組「ザ・プライムショー」を無料放送で開始しました。

「WOWOWライブ」では、スペインサッカー リーガ・エスパニョーラの伝統の一戦・クラシコや米プロバスケットボール「NBA」、「WOWOWシネマ」では「座頭市」シリーズ27作品や「男はつらいよ」全49作の一举放送が加入獲得を牽引しました。

さらに、お客さまとの接点増加のための施策として、スマートフォン、タブレット端末上で「映画の一皿」、「映画はクラシックだ!」などのアプリケーションを通じて、当社が放送するコンテンツへの気づきを高める取り組みを行いました。映画製作では、WOWOW FILMS「マイ・バック・ページ」、WOWOW FILMS製作参加作品「アントキノイノチ」などを公開しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は470億26百万円と前年同期に比べ2億52百万円(0.5%)の増収、セグメント利益は44億67百万円と前年同期に比べ5億97百万円(△11.8%)の減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表の通りとなりました。複数契約(注)は、当第3四半期末時点において330,767件(前年同期末デジタルダブル契約数に比べ59,211件の増加)となっております。

(注) 当社は平成23(2011)年10月より、それまでの「デジタルダブル契約」に代えて、同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,415円(税込)の視聴料金を945円(税込)に割引、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

契約種別	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	デジタル移行件数	累計正味加入件数
アナログ	2,515	87,201	△84,686	△64,675	—
デジタル	545,791	416,682	129,109	64,675	2,556,124
合計 (対前年同期増減率)	548,306 (△12.2%)	503,883 (△10.6%)	44,423 (△27.6%)	—	2,556,124 (0.2%)

(注) 当社は平成23(2011)年6月30日を以てアナログ有料放送サービスを終了しているため、平成24(2012)年3月期第2四半期末より契約種別の前年同期増減率を記載しておりません。

<テレマーケティング>

連結子会社の株)WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。東日本大震災の影響に伴うアウトバウンド業務を中心とした受注の減少により、当第3四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は48億66百万円と前年同期と比して5億円(△9.3%)の減収となり、セグメント利益は6億38百万円と前年同期と比して3億52百万円(△35.5%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は478億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億47百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産で機械及び装置が35億77百万円増加し、その他有形固定資産が20億51百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は188億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億91百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で短期借入金が増加しましたが、未払法人税等が10億57百万円、その他流動負債が7億61百万円、買掛金が5億12百万円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は289億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億39百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.7ポイント上昇し、60.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23(2011)年10月28日に公表した連結業績予想からの修正はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第3四半期連結会計期間末において以下の事項がありません。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ [削除・下記参照]
- ⑥ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑦ コンテンツに関わるリスク
- ⑧ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑨ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑩ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑪ [削除・下記参照]
- ⑫ [削除・下記参照]
- ⑬ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑭ 為替レートの変動に関するリスク

当社は平成23(2011)年7月24日にB Sアナログ放送を終了いたしましたため、当社グループは、上記及び第27期有価証券報告書「第2 事業の状況 4 事業等のリスク」並びに平成23年3月期決算短信添付資料「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」において、⑤、⑪、⑫に記載されたアナログ放送に関するリスクを認識しておりません。また、当社グループは、当該リスクは顕在化することなく、経営に重大な悪影響を与えていないものと認識しております。

なお、「放送法等の一部を改正する法律」(平成22年法律第65号)が平成23(2011)年6月30日に施行されたことに伴い、第27期有価証券報告書「第2 事業の状況 4 事業等のリスク」及び平成23年3月期決算短信添付資料「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」において、「⑩ 放送関連法制度に関わるリスク」に記載した「デジタル委託放送業務認定」の名称が「基幹放送の業務認定」に変更されております。

各リスク項目の詳細につきましては、平成23年3月期決算短信（平成23年5月13日提出）添付資料4ページの「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ（IR資料室））

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,924	6,749
売掛金	2,912	3,484
番組勘定	12,929	13,510
貯蔵品	99	66
その他	2,004	2,230
貸倒引当金	△184	△162
流動資産合計	25,686	25,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,976	2,271
機械及び装置（純額）	1,728	5,305
その他（純額）	2,769	718
有形固定資産合計	6,474	8,296
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
のれん	42	26
その他	2,013	1,952
無形固定資産合計	7,067	6,989
投資その他の資産		
投資有価証券	5,698	5,676
その他	1,353	1,079
貸倒引当金	△76	△69
投資その他の資産合計	6,975	6,685
固定資産合計	20,517	21,971
資産合計	46,203	47,850

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,649	11,136
短期借入金	—	1,380
未払法人税等	1,599	541
賞与引当金	63	38
機械設備撤去費用引当金	63	—
その他	5,078	4,317
流動負債合計	18,454	17,414
固定負債		
退職給付引当金	1,224	1,270
その他	287	189
固定負債合計	1,511	1,459
負債合計	19,966	18,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	18,612	21,415
株主資本合計	26,350	29,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	82
繰延ヘッジ損益	△359	△458
その他の包括利益累計額合計	△313	△376
少数株主持分	200	198
純資産合計	26,237	28,976
負債純資産合計	46,203	47,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	49,246	49,191
売上原価	23,387	25,232
売上総利益	25,859	23,959
販売費及び一般管理費	19,822	18,869
営業利益	6,037	5,090
営業外収益		
受取利息	3	1
持分法による投資利益	235	91
為替差益	330	51
その他	46	113
営業外収益合計	615	257
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	6	6
営業外費用合計	6	7
経常利益	6,645	5,341
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13	—
契約解除料返還益	31	—
特別利益合計	44	—
特別損失		
固定資産除却損	18	76
投資有価証券評価損	200	3
ゴルフ会員権評価損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
特別損失合計	263	81
税金等調整前四半期純利益	6,427	5,260
法人税、住民税及び事業税	2,408	1,720
法人税等調整額	109	141
法人税等合計	2,518	1,861
少数株主損益調整前四半期純利益	3,908	3,398
少数株主利益	27	17
四半期純利益	3,880	3,380

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,908	3,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	36
繰延ヘッジ損益	△349	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△92
その他の包括利益合計	△302	△62
四半期包括利益	3,605	3,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,577	3,318
少数株主に係る四半期包括利益	27	17

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,773	2,473	49,246	—	49,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,893	2,893	△2,893	—
計	46,773	5,366	52,140	△2,893	49,246
セグメント利益	5,064	991	6,055	△18	6,037

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△18百万円には、のれん償却額△15百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,026	2,165	49,191	—	49,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,701	2,701	△2,701	—
計	47,026	4,866	51,893	△2,701	49,191
セグメント利益	4,467	638	5,106	△15	5,090

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものであり、セグメント利益の調整額△15百万円には、のれん償却額△15百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

① 売上高実績

当第3四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次の通りです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
放送	47,026	100.5
テレマーケティング	2,165	87.6
合計	49,191	99.9

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入44,737百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報 (参考)

① 個別経営成績 (累計) ・ 個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	46,969	0.6	4,430	△11.7	5,039	△11.9	3,369	△1.0
23年3月期第3四半期	46,696	0.6	5,017	7.5	5,719	10.2	3,403	△12.0

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期第3四半期	43,064	24,403		
23年3月期	40,895	21,581		

(注) 個別経営成績 (累計) 及び個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
24年3月期	63,700	1.9	3,800	△19.9	2,200	△9.3	15,254	26

(注) 平成23 (2011) 年10月28日に公表した業績予想からの修正はありません。